

第 67 回京都府新型コロナウイルス感染症対策本部会議 議事概要

- 1 日 時 令和 4 年 3 月 17 日（木）午後 1 時 45 分から午後 2 時 00 分まで
- 2 場 所 京都府職員福利厚生センター会議室
- 3 出席者 知事、古川副知事、企画理事兼商工労働観光部長、危機管理監、知事室長、職員長、総務部長、文化スポーツ部長、健康福祉部長、京都府議会事務局長、教育長、警察本部長、山城広域振興局長、南丹広域振興局長、中丹広域振興局長、丹後広域振興局副局長、京都府新型コロナウイルス感染症対策専門家会議議長及び京都市危機管理監

4 議事録

【危機管理監】

- ・京都府新型コロナウイルス感染症対策本部会議を開催します。
- ・本日は、後ほど開催される予定の政府対策本部の内容等を踏まえ、今後の対応について協議いただくこととしています。
- ・それでは西脇知事に会議の進行をお願いします。

【知 事】

- ・まず初めに、昨晚遅くに発生した福島県沖を震源とする地震によって、不幸にもお亡くなりになられた方に対し、慎んで哀悼の意を表しますとともに、心から御冥福をお祈りします。また、被災された皆様に対し、心からお見舞いを申し上げますとともに、1 日も早い復興をお祈りします。
- ・それでは、コロナウイルスについての会議に入ります。
- ・まずはこの間、昼夜を分かたず、医療現場で御奮闘いただいている医療従事者の皆様、高齢者施設や、学校現場、保育所等の第一線で御奮闘いただいている皆様に、心から感謝を申し上げます。また府民、事業者の皆様にも、まん延防止等重点措置によって、非常に大きな御負担をおかけしています。多大なる御協力に、感謝を申し上げたいと思います。
- ・昨日の新規陽性者数は 1320 人、7 日間の平均は 1,070 人、前週比は 0.87 倍と、約 1 ヶ月間 1 を切っています。緩やかですが、感染者数は減少局面にあります。医療提供体制についても、15 日時点の確保病床使用率が 44.5%、高度重症病床使用率が 5.9%と、徐々に改善しています。2 月 9 日に 1 日あたりの感染者数で最大の 2,996 人、2 月 27 日には、確保病床使用率が 75.2%となりましたが、その後の皆様の御協力によって、陽性者数、病床使用率とも、継続して減少局面にあります。
- ・この後、政府が対策本部を開き、決定することを前提に、京都府のまん延防止等重点措置終了後の対策等を含めて、議論したいと思います。まずは、最近の感染状況等について、健康福祉部長から御報告をお願いします。

【健康福祉部長】

※資料 1 に基づき報告

【知 事】

- ・続きまして、今後の対応について、危機管理監から事務局案の説明をよろしく申し上げます。

【危機管理監】

※資料2に基づき説明

【知 事】

- ・続きまして、ワクチンの接種の推進について、健康福祉部長から説明をお願いします。

【健康福祉部長】

※資料3に基づき説明

【知 事】

- ・ここまでの説明について、専門家会議の松井議長から御助言をよろしく申し上げます。

【専門家会議議長】

- ・感染者数の減少傾向、重症者病床を含む病床使用率の低下から、今回、まん延防止等重点措置の終了に同意をしますが、専門家会議としては、感染のさらなる拡大に備えておく必要があると考えています。
- ・備えとして、医療体制の維持と、府民の皆様による対策の継続、特に春の行楽シーズンを迎える中、感染拡大させない取組を、府から府民、事業者の皆様へ呼びかけていただきますようお願いしたいと思います。

【知 事】

- ・行楽シーズンの話は、専門家会議でも意見が出ていました。引き続き、医師会とも連携し、感染防止対策に取り組んでいきたいと思えます。
- ・次に京都市の三科危機管理監から、御意見をよろしく申し上げます。

【京都市危機管理監】

- ・まだ終わっていませんが、1月27日から54日間のまん延防止等重点措置において、市民、事業者の皆様には御理解、御協力をいただきました。感謝を申し上げます。また、医療関係者、保健所、エッセンシャルワーカーの皆様は踏ん張りで、最も厳しい状況は脱した状況かと思えます。
- ・ただ、これまで、第5波までの様々な経験においては、感染者の増える状況と減る状況が対になっていることが当然でした。今回、波形も違いますし、まだ収束したと言えない状況で今日を迎えています。
- ・難しい状況が残っているため、ワクチン接種の促進と、季節に応じた注意喚起を行っていききたいと思えます。今後、どのような形で展開していくかは、予測が難しいので、京都府さんとも相談しながら、対応していきたいと思えます。よろしく申し上げます。

【知 事】

・非常に難しい局面で、人出も増えてきます。京都市と連携をとりながら、感染防止に取り組む必要があると思います。特に、感染防止策について、皆様の御理解をいただくためには、広報、啓発が非常に重要になります。その点についても、御協力をお願いしたいと思っています。

・その他に、御意見がなければ、事務局案によって今後の対応を決定し、引き続き、万全を期してコロナ対策に取り組んでいくことにしたいと思っています。

・その他に、各部局からの報告事項がなければ、本日の会議の総括を申し上げます。政府が今、手続中ですが、21日をもって、まん延防止等重点措置の終了が決定される前提で、対策を決定しました。

・この状況まで来たのは、府民、事業者の皆様様の御協力と、医療関係の皆様による病床の確保を始めとした医療体制の拡充、ワクチン接種の推進等が進んだことによります。改めて、皆様の御協力に感謝を申し上げたいと思います。

・ただ、感染は一定数出ています。油断せず、今後も基本的な感染防止対策を続け、慎重に行動していただくをお願いしなければならないと思っています。そのためにも、本日決定した取組を着実に実施していく必要があります。

・この後、記者会見で私から直接呼びかけをしますが、次の2点について、皆様の取組をよろしくお願いしたいと思っています。

・1点目、ワクチン接種は発症予防効果、重症化予防効果があると言われていています。希望する方が、できる限り速やかに接種できるように、関係部局が連携して取り組んでほしいと思っています。

・2点目、本日決定した感染を上げないための対応は、我々も含め、府民、事業者の皆様、市町村、関係団体の方に御理解をいただく必要があります。幅広くかつ丁寧に広報、説明をし、皆様の御理解を求め、その上で、対策を進めるよう、よろしくをお願いします。

・一定の感染者数がある中での次のステップです。引き続き、緊張感を持って取り組んでいただくようお願いします。私からは以上です。

【危機管理監】

・関係の部局長におかれては、先ほどの指示事項を踏まえ、万全の取組をお願いします。

・松井議長、三科危機管理監におかれては、お忙しいところ、御出席をいただき、誠にありがとうございました。

・以上をもって、対策本部会議を終了します。